



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社エヌエフ回路設計ブロック 上場取引所 東
 コード番号 6864 URL http://www.nfcorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川 準 (TEL) 045-545-8101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,814	10.5	113	△68.6	125	△65.8	172	△30.0
29年3月期第2四半期	3,451	△2.3	362	2.2	365	0.6	246	△1.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 197百万円(△18.3%) 29年3月期第2四半期 241百万円(8.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	27.46	—	—	—
29年3月期第2四半期	39.22	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,692	64.1	7,499	64.1	7,499	64.1
29年3月期	10,806	68.7	7,428	68.7	7,428	68.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,499百万円 29年3月期 7,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,350	18.5	610	3.5	600	2.3	390	2.5	62.11	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	6,330,000株	29年3月期	6,330,000株
30年3月期2Q	50,690株	29年3月期	50,624株
30年3月期2Q	6,279,362株	29年3月期2Q	6,279,380株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、世界経済の持続的な拡大を背景にして、個人消費および設備投資が上向くなど、緩やかな回復基調で推移しました。他方、一部地域での地政学的リスクの高まりや欧米各国の政策動向など先行き不透明な情勢が続いております。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、新製品の拡販、ソリューションの提案や蓄電システムを含めた環境・エネルギー市場への取り組み強化を進めました。また新たに子会社化した株式会社計測技研の事業連携や山口県内における生産拠点の整備に努めました。

以上の結果、受注は比較的堅調に推移し、売上は従来より下期割合が多く、季節性が増しました。既存事業領域での電子部品分野で売上が減少する一方、蓄電システム等の新規事業領域の受注・売上が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,814百万円と前年同期比10.5%の増加となりました。他方、損益面では、売上の季節性増大に伴う営業利益の減少に加えて、新規事業生産拠点の強化や海外展開の加速などに伴う経費増の結果、経常利益が125百万円と前年同期比65.8%の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、負ののれん発生益の計上を含めて、172百万円と前年同期比30.0%の減少となりました。

② 営業の分野別状況

当第2四半期連結累計期間における営業の分野別状況は、次のとおりであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、継続的な新製品の開発と拡販に努めました。当期においては、主力商品であるLCRメータ等が堅調に推移した一方、周波数特性分析器、微小信号測定器が弱含みで推移しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は512百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、継続的な新製品の開発と拡販に努めるとともに、新規事業領域である蓄電システムの販売強化・生産体制整備を行ないました。当期においては、前年同期に好調であったリレー試験器が少し落ち込む一方、蓄電システムが順調に推移し、交流電源・直流電源も堅調であったことから、電源機器全体としては前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,709百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野では、当社が得意としているアナログデバイステクノロジーをベースにして、航空宇宙・社会インフラ関連を中心にお客様の個別のニーズに応えるカスタム製品の拡販に努めました。当期においては、社会インフラ関連市場向けは堅調に推移したものの、航空宇宙関連での落ち込みが大きく、全体としては前期を大幅に下回る実績となりました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は300百万円（前年同期比42.8%減）となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、最先端研究開発の評価用システムから組込み用機器や生産設備用途までお客様の多様なニーズに応えるソリューション事業として積極的な展開を行いました。当期においては、生産設備用途が堅調に推移するとともに、新規分野での用途も加わり、全体としては前期を上回る実績となりました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は1,074百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

《その他分野》

この分野は、校正・修理および仕入商品の売上が主で、売上高は216百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、売上債権などが減少したものの、現金及び預金、たな卸資産及び新規連結子会社などの増加により、前連結会計年度と比較して886百万円増加し、11,692百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して814百万円増加し、4,192百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して71百万円増加し、7,499百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ296百万円増加し、982百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは790百万円の増加となりました。

これは主に、賞与引当金の減少72百万円、未払消費税の減少65百万円、法人税等の支払117百万円、負ののれん発生益92百万円などにより減少したものの、税金等調整前四半期純利益217百万円、売上債権の減少329百万円、仕入債務の増加443百万円、減価償却費128百万円などにより増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは214百万円の増加となりました。

これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入330百万円、有形・無形固定資産の取得による支出112百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは707百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金の減少530百万円、配当金の支払125百万円により減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日付「平成29年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,507,691	2,818,284
受取手形及び売掛金	3,032,188	3,026,938
商品及び製品	619,767	699,821
仕掛品	670,054	642,408
原材料	669,161	692,381
その他	248,728	236,266
貸倒引当金	△10,000	△12,426
流動資産合計	7,737,591	8,103,675
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,507,212	1,677,212
その他(純額)	1,028,541	1,286,252
有形固定資産合計	2,535,754	2,963,464
無形固定資産	178,598	172,351
投資その他の資産	354,645	453,325
固定資産合計	3,068,998	3,589,141
資産合計	10,806,589	11,692,817
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	750,010	1,250,949
短期借入金	106,600	471,468
未払法人税等	113,228	22,866
賞与引当金	254,463	199,568
役員賞与引当金	24,850	—
受注損失引当金	1,188	—
その他	431,044	611,089
流動負債合計	1,681,385	2,555,941
固定負債		
社債	—	60,000
長期借入金	1,413,200	1,294,275
退職給付に係る負債	138,644	130,724
長期未払金	106,804	103,203
資産除去債務	19,603	27,222
その他	18,883	21,569
固定負債合計	1,697,135	1,636,995
負債合計	3,378,521	4,192,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	401,137	401,137
利益剰余金	5,011,687	5,058,517
自己株式	△22,575	△22,656
株主資本合計	7,390,249	7,436,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,818	62,882
その他の包括利益累計額合計	37,818	62,882
純資産合計	7,428,068	7,499,880
負債純資産合計	10,806,589	11,692,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,451,578	3,814,270
売上原価	2,111,314	2,645,864
売上総利益	1,340,264	1,168,406
販売費及び一般管理費	977,540	1,054,453
営業利益	362,723	113,953
営業外収益		
受取利息	576	215
受取配当金	6,468	7,581
保険解約返戻金	—	5,598
その他	5,557	8,709
営業外収益合計	12,603	22,104
営業外費用		
支払利息	8,871	10,594
売上割引	50	151
その他	870	156
営業外費用合計	9,792	10,902
経常利益	365,534	125,155
特別利益		
固定資産売却益	—	4
負ののれん発生益	—	92,606
特別利益合計	—	92,611
特別損失		
固定資産除却損	37	163
特別損失合計	37	163
税金等調整前四半期純利益	365,496	217,602
法人税、住民税及び事業税	71,844	16,400
法人税等調整額	47,393	28,784
法人税等合計	119,237	45,185
四半期純利益	246,258	172,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,258	172,416

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	246,258	172,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,652	25,063
その他の包括利益合計	△4,652	25,063
四半期包括利益	241,606	197,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,606	197,480
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	365,496	217,602
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△4
減価償却費	115,738	128,165
受注損失引当金の増減額(△は減少)	445	△1,188
賞与引当金の増減額(△は減少)	△114,340	△72,387
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,100	△24,850
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,985	△7,919
受取利息及び受取配当金	△7,045	△7,797
支払利息	8,871	10,594
保険解約返戻金	—	△5,598
有形固定資産除却損	37	163
長期未払金の増減額(△は減少)	△2,490	△3,600
売上債権の増減額(△は増加)	406,656	329,532
たな卸資産の増減額(△は増加)	△133,859	△19,903
仕入債務の増減額(△は減少)	56,464	443,016
負ののれん発生益	—	△92,606
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,987	△65,771
その他	△14,426	82,902
小計	595,474	910,350
利息及び配当金の受取額	7,045	7,797
利息の支払額	△9,378	△10,372
法人税等の支払額	△181,022	△117,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,119	790,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,000	△6,000
有形固定資産の取得による支出	△60,679	△68,545
無形固定資産の取得による支出	△41,162	△44,428
有形固定資産の売却による収入	—	4
投資有価証券の取得による支出	△2,724	△2,936
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	330,613
その他の支出	△2,206	△5,109
その他の収入	945	10,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,827	214,490
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△530,000
長期借入金の返済による支出	—	△32,093
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△31	△81
リース債務の返済による支出	△9,679	△10,320
配当金の支払額	△125,191	△125,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,902	△707,968
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,389	296,592
現金及び現金同等物の期首残高	571,240	685,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	642,630	982,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。